平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月7日

上場会社名　保土谷化学工業株式会社　　上場取引所　東
コード番号　4112　URL　http://www.hodogaya.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 喜多野　利和
問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長　(氏名) 富山　裕光　TEL 03-5299-8019

四半期報告書提出予定日　平成24年11月12日　配当支払開始予定日　平成24年12月11日
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	16,811	△2.1	145	△67.9	△65	—	△1,143	—
24年3月期第2四半期	17,173	9.4	452	△45.7	200	△61.0	570	465.2

(注)包括利益　25年3月期第2四半期　△752百万円　(—%)　24年3月期第2四半期　440百万円　(—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	△14.46	—
24年3月期第2四半期	7.21	7.21

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	51,272	27,035	50.3
24年3月期	52,116	28,184	51.8

(参考) 自己資本　25年3月期第2四半期　25,795百万円　24年3月期　27,004百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	4.00	—	4.00	8.00
25年3月期	—	2.00			
25年3月期(予想)			—	2.00	4.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　有

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	35,300	0.3	800	△53.3	300	△75.6	△1,200	—	△15.17

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無
(注) 詳細は、添付資料 4ページ「(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧下さい。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	84,137,261 株	24年3月期	84,137,261 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	5,033,475 株	24年3月期	5,028,456 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	79,106,395 株	24年3月期2Q	79,104,330 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。
また、実際の業績は、今後様々な要因によって、異なる結果となる可能性があります。
なお、業績予想に関する事項は、四半期決算短信 (添付資料) 3ページ「(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧下さい。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 4
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 4
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 4
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 4
３．四半期連結財務諸表 …… 5
（１）四半期連結貸借対照表 …… 5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 7
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 7
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 8
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 9
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 11
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 11
（６）セグメント情報等 …… 11

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

〔機能性色素セグメント〕

電子材料事業は、欧州債務危機による先行きの不透明感から、需要が鈍化し、大幅に減少いたしました。
色素材料事業は、文具用染料が、景気低迷による海外の需要が鈍化したことで、減少したものの、
アルミ着色用染料の海外需要が伸張し、前年同期並みとなりました。
有機ＥＬ材料事業は、前期第2四半期から連結子会社化した SFC Co.,Ltd. の売上が寄与し、
増加いたしました。
以上の結果、当セグメントの売上高は、46億7百万円となり、前年同期比21百万円（0.5%）の減収、
となりました。

〔機能性樹脂セグメント〕

樹脂材料事業は、接着剤が、顧客での生産調整があり、減少いたしました。
特殊化学品事業は、樹脂関連分野の需要が伸び悩んだものの、医薬品分野の需要が回復し、
前年同期並みとなりました。
建築材料事業の材料販売は、ウレタン系防水材分野での改修物件の継続的な獲得により、増加いたしました。
一方、工事は、第2四半期に入り、大型物件の獲得が出来、前年同期並みとなりました。
以上の結果、当セグメントの売上高は、57億53百万円となり、前年同期比34百万円（0.6%）の増収、
となりました。

〔基礎化学品セグメント〕

過酸化水素は、動物用医薬品（水産用）の新規展開により、増加したものの、
主力の紙パルプ・工業薬品分野の需要が低迷し、前年同期並みとなりました。
過炭酸ナトリウムは、東日本大震災の影響からの回復により、増加いたしました。
その他の工業薬品は、他社の参入により、受注の獲得が出来ず、大幅に減少いたしました。
以上の結果、当セグメントの売上高は、36億円となり、前年同期比2億89百万円（7.4%）の減収、
となりました。

〔アグロサイエンスセグメント〕

アグロサイエンス事業は、原発事故の風評被害で停止していた輸出の復活や、殺虫剤の伸張があったものの、
家庭園芸用除草剤で、顧客での生産調整により、大幅に減少いたしました。
以上の結果、当セグメントの売上高は、20億71百万円となり、前年同期比1億49百万円（6.7%）の減収、
となりました。

上記の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、168億11百万円となりました。
また、損益面では、営業利益1億45百万円を確保いたしましたが、
経常損失は65百万円、四半期純損失は11億43百万円、となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末(9月末)における資産合計は、512億72百万円となり、
前連結会計年度末(3月末)比8億43百万円の減少となりました。
資産の減少の主な要因は、現金及び預金が5億77百万円、有価証券が5億円増加した一方、
受取手形及び売掛金が14億22百万円減少、投資有価証券が3億7百万円減少した等によるものです。
負債は、前連結会計年度末比3億5百万円の増加となりました。
その主な要因は、支払手形及び買掛金が5億79百万円減少した一方、
短期・長期借入金が8億58百万円増加した等によるものです。
純資産は、前連結会計年度末比11億49百万円の減少となりました。
その主な要因は、利益剰余金の減少14億60百万円等によるものです。
以上の結果、自己資本比率は50.3%となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

前述のように、第2四半期決算は、欧州債務危機を背景とした中国経済の減速や、世界経済の停滞を受け、売上高は、電子材料関連の需要を中心に大幅に落ち込み、減収となりました。

こうした中、第3四半期以降、我が国をとりまく経済環境が、どの程度好転し、また、主力事業の一つである、電子材料関連での需要回復が、どの程度見込めるものか、予断を許さない状況にあります。

以上の状況を鑑み、平成25年3月期の通期連結業績予想を、

売上高353億円（前期比0.3％増）、営業利益8億円（前期比53.3％減）、経常利益3億円（前期比75.6％減）、当期純損失は12億円、に修正いたしました。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の計算）

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

一部の連結子会社は、法人税の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、これによる当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常損失及び税金等調整前四半期純損失に与える影響は軽微であります。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,398	6,975
受取手形及び売掛金	11,572	10,149
有価証券	300	800
商品及び製品	3,603	4,006
仕掛品	573	188
原材料及び貯蔵品	1,369	1,764
繰延税金資産	368	120
その他	716	366
貸倒引当金	△22	△18
流動資産合計	24,878	24,352
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,663	6,497
土地	11,223	11,232
その他（純額）	4,538	4,184
有形固定資産合計	21,425	21,914
無形固定資産		
のれん	1,772	1,532
その他	445	379
無形固定資産合計	2,218	1,911
投資その他の資産		
投資有価証券	2,614	2,307
長期貸付金	32	37
繰延税金資産	28	21
その他	1,104	901
貸倒引当金	△185	△174
投資その他の資産合計	3,594	3,093
固定資産合計	27,237	26,919
資産合計	52,116	51,272

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年９月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,344	4,765
短期借入金	6,392	6,539
未払法人税等	240	229
引当金	614	545
資産除去債務	39	―
その他	2,748	2,886
流動負債合計	15,380	14,967
固定負債		
社債	66	―
長期借入金	5,136	5,847
繰延税金負債	1,218	1,236
再評価に係る繰延税金負債	1,428	1,428
引当金	244	212
その他	457	545
固定負債合計	8,551	9,270
負債合計	23,931	24,237
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,196	11,196
資本剰余金	9,590	9,590
利益剰余金	5,924	4,463
自己株式	△1,690	△1,691
株主資本合計	25,020	23,558
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△222	△18
繰延ヘッジ損益	△10	△8
土地再評価差額金	2,583	2,583
為替換算調整勘定	△365	△319
その他の包括利益累計額合計	1,983	2,236
新株予約権	52	58
少数株主持分	1,128	1,181
純資産合計	28,184	27,035
負債純資産合計	52,116	51,272

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
売上高	17,173	16,811
売上原価	12,099	11,994
売上総利益	5,074	4,817
販売費及び一般管理費	4,621	4,672
営業利益	452	145
営業外収益		
受取利息	3	12
受取配当金	44	40
固定資産賃貸料	33	46
持分法による投資利益	11	－
雑収入	64	90
営業外収益合計	158	189
営業外費用		
支払利息	97	97
退職給付費用	153	153
雑損失	158	149
営業外費用合計	410	400
経常利益又は経常損失（△）	200	△65
特別利益		
固定資産売却益	0	18
災害損失引当金戻入額	90	4
補助金収入	－	108
段階取得に係る差益	622	－
抱合せ株式消滅差益	54	－
その他	23	10
特別利益合計	790	142
特別損失		
固定資産除却損	28	5
投資有価証券評価損	13	179
関係会社株式評価損	－	381
子会社株式売却損	91	－
災害による損失	109	0
本社移転費用	－	21
減損損失	52	－
その他	－	30
特別損失合計	295	618
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	694	△542
法人税等	137	485
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	557	△1,027
少数株主利益又は少数株主損失（△）	△12	116
四半期純利益又は四半期純損失（△）	570	△1,143

（四半期連結包括利益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	557	△1,027
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△124	204
繰延ヘッジ損益	1	2
為替換算調整勘定	△19	69
持分法適用会社に対する持分相当額	25	－
その他の包括利益合計	△117	275
四半期包括利益	440	△752
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	453	△891
少数株主に係る四半期包括利益	△13	139

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	694	△542
減価償却費	738	819
減損損失	52	－
のれん償却額	198	268
引当金の増減額（△は減少）	△120	95
受取利息及び受取配当金	△48	△53
支払利息	97	97
為替差損益（△は益）	△31	0
段階取得に係る差損益（△は益）	△622	－
抱合せ株式消滅差損益（△は益）	△54	－
持分法による投資損益（△は益）	△11	－
有形固定資産売却損益（△は益）	△0	△18
固定資産除却損	12	5
投資有価証券評価損益（△は益）	13	179
関係会社株式評価損	－	381
子会社株式売却損益（△は益）	91	－
売上債権の増減額（△は増加）	1,708	1,415
たな卸資産の増減額（△は増加）	△287	△413
仕入債務の増減額（△は減少）	△431	△551
その他の資産・負債の増減額	179	45
未払消費税等の増減額（△は減少）	49	132
その他	△6	38
小計	2,222	1,899
利息及び配当金の受取額	49	46
利息の支払額	△96	△96
法人税等の支払額	△225	△147
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,950	1,702
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△19	△46
定期預金の払戻による収入	1	138
有形及び無形固定資産の取得による支出	△865	△1,087
有形及び無形固定資産の売却による収入	0	23
資産除去債務の履行による支出	－	△24
投資有価証券の取得による支出	△2	△50
投資有価証券の売却による収入	544	4
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△1,172	－
貸付けによる支出	△23	△6
貸付金の回収による収入	1	2
差入保証金の差入による支出	－	△37
差入保証金の回収による収入	－	155
その他	△6	△1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,542	△927

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△686	△150
長期借入れによる収入	2,420	1,891
長期借入金の返済による支出	△850	△883
社債の発行による収入	75	－
社債の償還による支出	－	△69
配当金の支払額	△314	△314
少数株主からの払込みによる収入	5	－
少数株主への配当金の支払額	△5	△86
自己株式の売却による収入	－	0
自己株式の取得による支出	△1	△1
リース債務の返済による支出	△10	△12
ストックオプションの行使による収入	2	－
財務活動によるキャッシュ・フロー	634	373
現金及び現金同等物に係る換算差額	△14	19
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	1,028	1,167
現金及び現金同等物の期首残高	6,476	6,557
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	25	－
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,530	7,725

（４）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

（６）セグメント情報等
Ⅰ 前第2四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）
１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					その他	合計	調整額	四半期連結損益計算書計上額
	機能性色素	機能性樹脂	基礎化学品	アグロサイエンス	計				
売上高									
(1)外部顧客に対する売上高	4,628	5,718	3,889	2,220	16,457	715	17,173	―	17,173
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	0	43	3	―	47	361	408	△408	―
計	4,628	5,762	3,893	2,220	16,505	1,077	17,582	△408	17,173
セグメント利益又は損失(△)	14	102	129	66	312	150	463	△10	452

（注1） 各セグメントの主な製品
(1)機能性色素・・・・・トナー用電荷制御剤、有機光導電体材料、有機ＥＬ材料、各種染料等
(2)機能性樹脂・・・・・ウレタン系及びセメント系各種建築土木用材料、
ＰＴＧ（ウレタン原料）、一般化学工業用基礎原料等
(3)基礎化学品・・・・・過酸化水素等
(4)アグロサイエンス・・農薬原体・製剤等

（注2） 「その他」は、報告セグメントに含まれない区分であり、倉庫業及び貨物運送取扱業、研究受託業務等を含んでおります。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
(固定資産に係る重要な減損損失)
当社の本社移転に伴い一部設備の処分が見込まれるため、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。
その結果、「その他」セグメントにおいて48百万円、「アグロサイエンス」セグメントにおいて4百万円、それぞれ減損損失を計上しております。
なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において、52百万円であります。

(のれんの金額の重要な変動)
「機能性色素」セグメントにおいて、第1四半期連結会計期間にSFC Co.,Ltd.(韓国)の株式を取得し、連結の範囲に含めたため、のれんが発生しております。
また、当第2四半期連結会計期間にSFC Co.,Ltd.(韓国)の株式を一部売却しております。
従って、当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間において、1,626百万円であります。

「アグロサイエンス」セグメントにおいて、第1四半期連結会計期間に保土谷アグロテック株式会社の株式を取得し、連結の範囲に含めたため、のれんが発生しております。
なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間において、171百万円であります。

Ⅱ　当第2四半期連結累計期間（自　平成24年4月1日　至　平成24年9月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					その他	合計	調整額	四半期連結損益計算書計上額
	機能性色素	機能性樹脂	基礎化学品	アグロサイエンス	計				
売上高									
(1)外部顧客に対する売上高	4,607	5,753	3,600	2,071	16,032	779	16,811	―	16,811
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	165	43	43	―	252	359	612	△612	―
計	4,772	5,797	3,644	2,071	16,285	1,138	17,424	△612	16,811
セグメント利益又は損失(△)	81	110	115	△191	115	146	262	△117	145

（注1）　各セグメントの主な製品

(1)機能性色素・・・・・トナー用電荷制御剤、有機光導電体材料、有機ＥＬ材料、各種染料等

(2)機能性樹脂・・・・・ウレタン系及びセメント系各種建築土木用材料、
ＰＴＧ（ウレタン原料）、一般化学工業用基礎原料等

(3)基礎化学品・・・・・過酸化水素等

(4)アグロサイエンス・・農薬原体・製剤等

（注2）　「その他」は、報告セグメントに含まれない区分であり、倉庫業及び貨物運送取扱業、研究受託業務等を含んでおります。

（注3）　セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

（注4）　当第2四半期連結累計期間のセグメント利益の調整額△117百万円は、セグメント間取引消去であります。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。